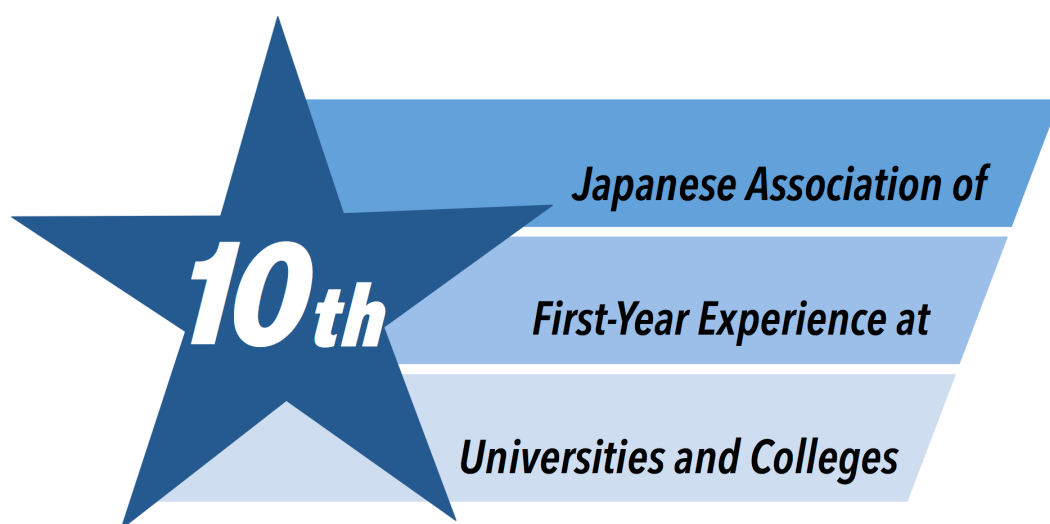


初年次教育学会第 10 回大会

大会プログラム

— 初年次教育と学生コミュニティ：授業内外で育む学びの成長 —



主催：初年次教育学会

共催：中 部 大 学

平成 29 年 9 月 6 日（水）・7 日（木）



中部大学
CHUBU UNIVERSITY

初年次教育学会第 10 回大会 日程

第 1 日 9 月 6 日 (水)

9 : 0 0 ~	受付開始	10 号館 1 階
1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0	ワークショップ (WS1~WS7) ラウンドテーブル I (RT1~RT3)	不言実行館 2 階, 5 階 10 号館 3~5 階
1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	昼食	第 1 学生ホール 他
1 3 : 0 0 ~ 1 3 : 3 0	総会	不言実行館 1 階 アクティブホール
1 3 : 5 0 ~ 1 5 : 4 0	大会企画シンポジウム 「初年次教育と学生コミュニティ： 授業内外で育む学びの成長」 第 1 部 基調講演 13 : 50 ~ 大会校挨拶 (開会式) 14 : 00 ~ 趣旨説明 14 : 10 ~ 基調講演・質疑応答	
1 6 : 0 0 ~ 1 7 : 4 0	大会企画シンポジウム 第 2 部 実践報告 16 : 00 ~ 実践報告 17 : 00 ~ 総括討論	
1 8 : 0 0 ~ 1 9 : 3 0	情報交換会	不言実行館 6 階

※ 賛助会員出展 (A 会場：不言実行館 1 階, B 会場：10 号館 1 階)

※ 賛助会員ランチタイムセミナー (L1~L6) (12 : 20~12 : 50, 10 号館 2~3 階)

第 2 日 9 月 7 日 (木)

9 : 0 0 ~	受付開始	10 号館 1 階
1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0	自由研究発表 I (A1~A7) ラウンドテーブル II (RT4)	10 号館 2~3 階
1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	昼食	第 1 学生ホール 他
1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 2 0	課題研究シンポジウム 「3つのポリシーと初年次教育」	不言実行館 1 階 アクティブホール
1 5 : 4 0 ~ 1 7 : 4 0	自由研究発表 II (P1~P8)	10 号館 2~3 階
1 7 : 5 0 ~ 1 8 : 0 0	閉会式	10 号館 2 階 1024 室

※ 賛助会員出展 (A 会場：不言実行館 1 階, B 会場：10 号館 1 階)

※ 賛助会員ランチタイムセミナー (L7~L10) (12 : 20~12 : 50, 10 号館 4 階)

ご挨拶

初年次教育学会第10回大会を、2017年9月6日（水）・7日（木）の両日、中部大学（愛知県春日井市）にて開催するにあたり、歓迎のご挨拶を申し上げます。

節目の第10回、そして東海地区初となる本大会を本学で開催できますことは非常に光栄かつ名誉なことと存じます。充実した大会となりますよう、関係者一同しっかりと運営にあたって参る所存です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

本大会のテーマは「初年次教育と学生コミュニティ：授業内外で育む学びの成長」です。大学初年次における学生達の主体的・能動的な学びを促進するために、学生間相互の、学びを前提とするコミュニケーション、協同的・協働的な学びが重要であるとの立場から、「学びのコミュニティ」構築を支援するための学生理解、高校から大学初年次にかけての授業外・授業内の取組事例などを取り上げた大会企画シンポジウムを第1日目に開催します。

春日井市は名古屋市の北東に隣接するベッドタウンで、大学の近くには、多摩ニュータウン、千里ニュータウンとならぶ高度成長期の大規模開発団地である高蔵寺ニュータウンが位置しています。地域に関連する最近の話題のひとつに、この団地の基本設計者であり、その後もずっと団地の一角に住み続けた老建築家の、自然と共生しながら暮らす最晩年の姿を淡々と描いたドキュメンタリー映画「人生フルーツ」の公開があります。いろいろな見方ができる柔らかな詩情を持った作品ですが、成熟期を迎えた我々の社会をどのように持続させ再構築していくのかという課題についてのメッセージも含まれているように感じました。その重要な要素のひとつが人々のコミュニティであると思います。

学生コミュニティから大学コミュニティへ、そして地域の、社会の中の様々なコミュニティへと、社会を支え動かす構成員を送り出すのが大学教育のつとめであるということをあらためて考えながら、その最初のきっかけを作る初年次教育のありかたについて、本大会を通じて皆様とともに語り合うことができれば幸いです。

初年次教育学会 第10回大会実行委員会
委員長 大西 直之（中部大学）

大会のご案内

1. 参加費（いずれも1人当たり）	事前申込	当日申込
(a) 大会参加費（要旨集代含む）	会 員：4,000 円	5,000 円
	非会員：5,000 円	5,000 円
	学生（会 員）：2,000 円	3,000 円
	学生（非会員）：3,000 円	3,000 円
(b) 情報交換会費	会員／非会員：5,000 円	5,000 円

(c) 事前申込みのお願い

8月10日（木）までに大会ホームページから申込の上でお振込みください。それ以降は当日受付での登録・お支払となります（賛助会員の方には別途ご案内致します）。

※ 会場の円滑な運営と受付の混雑回避のため、できるだけ事前申込みにご協力をお願い致します。

※ 学生の方は受付にて学生証をご提示ください。

※ 情報交換会場はシンポジウム会場建物6階の展望フロアです。会場の都合により入場者数を制限する場合がございます。できるだけ事前申込みをお願い致します。

(d) 注意

機関会員は5名までが申込み可能な人数です。6名以上でのご参加を希望される場合は、予め5名分の事前参加申し込みをした上で、5名分の参加費をお振込みください。残りの参加者分については、非会員枠での申込みとなりますことを何卒ご了承ください。

- 2. 学会年会費** 大会会場では納入できません。持参されても領収書発行は致しかねますのでご注意ください。
- 3. 名札** 会場内では常に名札をご着用ください。
大会終了後、名札ケースはどうぞお持ち帰りください。
- 4. 休憩コーナー・クローク** 会場内に休憩コーナー（10号館1階・4階、不言実行館1階）、クローク（10号館1階）を設けます。当日の大会受付にてご確認ください。
- 5. WiFi 接続** 事前登録をされた方には個別に学内無線LANのゲストIDを大会受付にてお渡しします（個人としてのご利用に限ります）。当日申込の方にも発行準備致しますが数が限られますのでご了承ください。
- 6. 昼食について** 学食を営業しておりますのでご利用ください（会場案内図参照）。「第1学生ホール」が最短時間で提供可能です。他にコンビニエンスストア、ファストフード店もございます。学外近隣には飲食店はありません。
- 7. 服装について** 大会期間中は残暑が予想されます。大会参加の皆様には軽装をお勧め致します。なお、本学では、大会期間中も「クールビズ」を実施しておりますので、ご理解をお願い致します。
- 8. 喫煙** 全館禁煙です。屋外の指定場所のみで喫煙が可能です（会場案内図参照）。
- 9. 駐車場** 自家用車での来場はご遠慮ください。やむを得ずお車で来られた場合は正門守衛所に必ずお立ち寄りください。正門以外からは入構できません。
- 10. 会場での写真撮影について** 発表風景などの記録としての写真撮影にとどめ、ネットなどでの外部への公開はお控えください。また講演中にシャッター音を鳴らさないなど、撮影マナーにご配慮ください（発表者が要望した場合は撮影をご遠慮ください）。なお、学会・大会校としての記録作成のために担当者が会場風景などの撮影を行います。あらかじめご了承ください。
- 11. コピーサービス** 学内のコンビニエンスストアと書店にコピー機がございます（白黒10円／枚、カラー50円／枚）。台数が限られますので、自由研究発表等で当日配布される資料は事前に印刷してご持参ください。
- 12. 発表用 PC の接続について** 各教室でVGA端子・ステレオミニ端子およびHDMI端子とそれらの接続ケーブルをご利用いただけます。パソコンは発表者の方がご持参ください。Macintoshを使用される方はアダプタもご持参ください。
- 13. 会場について** 教室等は変更になることがありますのでご注意ください。

初年次教育学会 第10回大会 大会企画シンポジウム

初年次教育と学生コミュニティ — 授業内外で育む学びの成長 —

【日 時】 2017年9月6日（水）13:50 ～ 17:40

【会 場】 中部大学 不言実行館 ACTIVE PLAZA 1階 アクティブホール

【タイム・スケジュール】

第1部 基調講演

13:50 ～ 14:00 大会校挨拶 石原 修 中部大学学長

14:00 ～ 14:10 趣旨説明 大会実行委員長 大西 直之（中部大学）

14:10 ～ 15:40

基調講演「流動化する現代社会、固定化する仲間集団

— 学生コミュニティをめぐる今日の課題 — 」

土井 隆義 氏（筑波大学）

15:40 ～ 16:00 休憩

第2部 実践報告・総括討論

16:00 ～ 17:00 報告

報告1 静岡県立浜松江之島高校でのピア・サポート・トレーニングの実践
— 誰もが行きたくなる安心・安全な学校作りのために —

山口 権治 氏（浜松市教育委員会）

報告2 学びのコミュニティづくりを目指す新しい寮運営

小崎 文恵 氏（NPO 法人 NEWVERY）

報告3 初年次教育科目における学部生リーダーTA および TA の役割
— APU における多文化協働ワークショップの取り組み —

秦 喜美恵 氏（立命館アジア太平洋大学）

報告4 LTD 基盤型授業モデルによる初年次教育 — 協同実践力の育成を意図して —

安永 悟 氏（久留米大学）

17:00 ～ 17:40 総括討論

【司 会】

総合司会：石田 康行（中部大学）、 趣旨説明・総括討論進行：大西 直之（中部大学）

【企画趣旨】

あらためて述べるまでもなく、社会の変化、若年人口の減少や進学率の上昇によって、日本の大学教育は大きな転換点を迎えています。その最大の課題のひとつは入学者の多様化にあります。多様な入学生を対象に、いかにしてそれぞれが理念とする大学教育を実現するのか。大学教職員は大きな悩みを抱えながら日々教育の現場に立っているといえます。

ひるがえって、かつて大学教育とは「学びたい者が集い、自ら互いに切磋琢磨し、成長していく場」といったイメージで理想的に語られてきたのではないのでしょうか。もちろん大学そのものは長い歴史の中で常に変遷し続けており、その認識を欠いて自分が受けた大学教育だけを懐古的に振り返ることは慎まなければなりません。しかしこのような、主体性や同僚性にもとづく学び、教職員も含めた大学コミュニティの中での自由で自発的な学び、そしてそれらを通じて得られる社会へのまなざし、社会を見据えた成長というのは、常に大学教育を特徴づけるものであったし、これからもそうであるべきと考えます。

そのような「大学での学び」を広く取り戻すために、大学コミュニティの一部としての学生コミュニティとでもいうべきものが、特に大学初年次教育の段階では極めて重要なのではないか、という思いが本テーマを設定したきっかけです。より構造化された教育システムとしての“Learning Communities”（※）などにとどまらず、授業内外を通じた大学生活の様々な場面における多様な形態をもった学生達のコミュニティ、ただしその中心には必ず「学びへの志向」が内在しているもの、そんなものをここでは学生コミュニティ、学びのコミュニティと呼びたいと思います。

そんな、かつては自然に形づくられていたかもしれない学びのコミュニティの構築・再構築に取り組んでいく上で、やはり気になるのは「いまどきの学生たち」の気質です。単なる世代の差のみとはいえない最近の変化は我々が共通して感ずるところだと思います。一方で、根っこの部分はなにも変わっていないのではないか、という感触も確かにあります。ちょっとした仕掛けや働きかけによって、主体的な学びのコミュニティが立ち上がる、学生達が自ら動き出す、学びの質が大きく変化する（学びが「成長」する）、そんな場面にしばしば遭遇します。

本シンポジウムでは、まず前半の基調講演においてそのような学生達の気質、特にコミュニケーション・人間関係における特徴を中高生の年代にも遡って社会学の視点から考察するところを出発点とします。そして後半の部では、高校から大学初年次へ、授業外から授業内へ（そしてまた授業外へ）、初年次ゼミから専門領域へといった流れを意識しながら、4件の実践事例を参加者の皆さんと共有し、学びのコミュニティづくり、主体的な学びの発動をどのように促していくのかについて考えていきたいと思います。

加速する社会の変化や教育政策の奔流の中で、もちろんその方向性や個々の手法の重要性はしっかりと見極めながらも、現場にあって目の前の学生達に日々向き合い続ける教職員の方々が、学生への理解を深め、教育の本質について共に考え、学生達が真に学び成長していくために何かひとつでも明日からの実践のヒントを得ていただけるような、そんなシンポジウムになれば幸いです。

[大会実行委員長 大西 直之（中部大学）]

※ 智原哲郎（2013）「ラーニング・コミュニティ活用による教育改善」初年次教育学会（編）『初年次教育の現状と未来』世界思想社, pp.225-236

【プロフィール】

土井 隆義（どい たかよし）氏

1960年、山口県生まれ。大阪大学大学院博士後期課程中退。現在、筑波大学人文社会系教授。社会学専攻（社会病理学・逸脱行動論・犯罪社会学）。今日の若者たちが抱えている生きづらさの内実と、その社会的な背景について、青少年犯罪などの病理現象を糸口に、人間関係論の観点から考察を進めている。

著書に『つながりを煽られる子どもたち』岩波ブックレット、『少年犯罪<減少>のパラドクス』岩波書店、『人間失格？』日本図書センター、『キャラ化する／される子どもたち』岩波ブックレット、『友だち地獄』ちくま新書、『「個性」を煽られる子どもたち』岩波ブックレット、『〈非行少年〉の消滅』信山社出版などがある。

山口 権治（やまぐち けんじ）氏

浜松市教育委員会。静岡県立浜松江之島高校元教諭。昨年度まで高校教諭として英語の教鞭を取りながら、生徒達が良好な関係を築くことができず不登校やいじめの防止につながるコミュニケーション方法として「ピア・サポート活動」を推進。生徒を募り「仲間づくりのスキル」を教育・訓練し育成してきた。今年度から浜松市教育委員会に所属し、小中学校へのピア・サポート普及に取り組んでいる。

小崎 文恵（こざき ふみえ）氏

NPO法人NEWVERY代表理事。立命館大学卒。GCDF・Japan キャリアカウンセラー。約10年間キャリアアドバイザーとして、大手のメーカー・監査法人等の組織再編・人事戦略の実行推進、若手や女性の個人のキャリアプランに合わせた転職相談等に幅広く従事。若手の転職支援がきっかけで若者のキャリア感に危機感を感じ、高等教育に関心を持つようになり、2014年7月NEWVERY入職。教育寮事業部ディレクター、法人事務局長を兼任。教育寮チェルシーハウスプロジェクトマネジメント、学生寮設立運営プロデュースを担当。寮運営で培った知識やノウハウ共有の重要性を感じて、教育寮オープンラボを2016年6月に設立。2017年3月理事長に就任。

秦 喜美恵（しん きみえ）氏

立命館アジア太平洋大学教育開発・学修支援センター教授。専門はStudent development。名古屋大学（1983年～1992年）では留学生相談主事として、留学生支援団体ACEを立ち上げオフィス付きのピアリーダーの育成に携わった。APUでは初年次教育の立ち上げから多文化協同を体験する初年次教育科目を企画実践し、初年次生を支援するピアリーダー育成に取り組んでいる。

安永 悟（やすなが さとる）氏

久留米大学文学部心理学科・大学院心理学研究科教授。教職課程委員長。初年次教育学会前会長。専門は教育心理学・協同教育。協同学習の一技法であるLTD話し合い学習法を中核に据えた授業づくりと、授業づくりを通じた小学校から大学までの異校種接続教育の必要性を提唱し、実践している。

石田 康行 中部大学応用生物学部応用生物化学科教授， 全学共通教育部初年次教育科兼務
大西 直之 中部大学工学部機械工学科教授， 全学共通教育部初年次教育科長

3つのポリシーと初年次教育

課題研究担当理事 濱名 篤 (関西国際大学)
関田一彦 (創価大学)
井下千以子 (桜美林大学)
将来構想担当理事 山田礼子 (同志社大学)

【企画趣旨】

昨年3月の学校教育法施行規則に伴い、学位プログラムを単位として、学位授与・卒業認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー, DP）、教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー, CP）、入学者選抜の方針（アドミッション・ポリシー, AP）の3つのポリシーを見直し、本年3月末までに公表することを各大学に求めた。こうした3つのポリシーの中で初年次教育はどのように取り扱われているのか、高大接続改革の中で初年次教育をいかに位置づけていけばいいのかについて議論する。

本年5月から6月にかけて初年次教育学会の会員を対象に、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）など、いわゆる3ポリシーの見直しに伴う初年次教育の取組みに関連した調査を実施した。本課題研究では、最新の会員調査の分析結果も明らかにする。

【登壇者】

- 1) 3つのポリシーの中でどのように初年次教育を実際に位置づけるのか
—カリキュラムポリシーとの関係を考える—

濱名 篤 (関西国際大学)

- 2) 2017年度初年次教育学会会員調査結果から
—3つのポリシーと初年次教育の関係を中心とした分析—

山田 礼子 (同志社大学)

- 3) 3つのポリシーと「主体的に考えて書く力」
—2017年度初年次教育学会会員調査結果と事例分析をもとに—

井下 千以子 (桜美林大学)

【司 会】 関田 一彦 (創価大学)

【日 時】 2017年9月7日(水) 13:00 ~ 15:20

【会 場】 中部大学 不言実行館 ACTIVE PLAZA 1階 アクティブホール

企画セッションⅠ [9月6日(水) 10:00~12:00]

ワークショップ (WS1~WS7)				
	担当者	所属	題目	会場
WS1	藤田 哲也 中川 華林	法政大学 法政大学 大学院	モデル授業公開検討会 (3) : ノートの取り方 第二弾	10号館 4階 104A 教室
WS2	井下千以子	桜美林大学	レポートの基本を学ぶ授業 ー アクティブラーニングによる展開 ー	10号館 4階 104B 教室
WS3	成田 秀夫 山本 啓一 得丸 智子	河合塾 北陸大学 開智国際大学	学生の経験を言語化し、学びを深める ライティング指導 ーTAE (Thinking At the Edge) をベースにした「経験をことば化する方法」ー	10号館 3階 103A 教室
WS4	関田 一彦	創価大学	協同学習に活かす相互評価: 学習者と共につくるループリック	不言実行館 5階 クリエイティブ・ラボ B
WS5	田中 岳 立石 慎治	東京工業大学 国立教育政策 研究所	2030年の初年次教育では 何が起ころうか	10号館 4階 104C 教室
WS6	青柳 達也 角 和博 安永 悟	佐賀大学 佐賀大学 久留米大学	協同学習の効果を高める 演劇的手法の導入	不言実行館 2階 スチューデント・コモンズ
WS7	長山 恵子 松本かおり	金沢工業大学 金沢工業大学	ポジティブ心理学を取り入れた 初年次教育を考える	10号館 4階 104D 教室

ラウンドテーブル (RT1~RT3)				
	担当者	所属	題目	会場
RT1	藤本 元啓 出口 良太 池ヶ谷 浩二郎	崇城大学 中部大学 創価大学	初年次教育における職員の役割について ー 職員主体と教職協働 第5報 ー	10号館 5階 105B 教室
RT2	西村 秀雄 沖 清豪	金沢工業大学 早稲田大学	初年次教育と発達障がい学生支援	10号館 5階 105C 教室
RT3	小林 祐也 佐伯 勇	関西大学 大学院 甲南女子大学	初年次教育において思考力を育成するための授業づくり	10号館 5階 105D 教室

企画セッションⅡ [9 月 7 日 (木) 10:00～12:00]

ラウンドテーブル (RT4)				
	担当者	所属	題目	会場
RT4	大西 直之 秦 喜美恵 松尾 智晶	中部大学 立命館アジア 太平洋大学 京都産業大学	初年次授業における TA,SA 等の役割 — 何を求め、どのように育成するか —	10 号館 2 階 1024 教室

ワークショップ (WS) とラウンドテーブル (RT) 及び課題研究セッションについて

1. ワークショップ (120 分)

初年次教育に関連する重要なテーマを初年次教育学会理事会が設定し、それに合った担当者を理事会から依頼して成立するセッションです。個人ワークやグループ・ディスカッション、グループ別プレゼンテーションなどの活動から構成されるこのセッションへの参加によって、参加者の初年次教育に対する知識や実践的スキルを向上させることを目的としています。言い換えれば、各テーマに対する初学者を主たる対象としていますので、自らの「知識・スキルの向上」を期待したいテーマのワークショップを選ぶことをお勧めします。

2. ラウンドテーブル (120 分)

ワークショップとは異なり、会員が企画するセッションです。申込者が設定したテーマについてまず自ら話題を提供した後、参加者全員が円卓（ラウンドテーブル）を囲み、報告者とオーディエンスといった区別なく、テーマに沿って自由に意見を交換する場であり、このセッションを通じて参加者間の相互作用によって有意義な結論を導き出そうとするものです。

3. 課題研究セッション (140 分)

課題研究は、研究担当理事が中心となり、初年次教育に関わる重点課題を設定し、話題提供にもとづく議論をすすめるものです。第 10 回大会では課題研究シンポジウムとして実施します。

自由研究発表Ⅰ [9月7日(木) 午前]

A1 学士課程教育Ⅰ		10号館3階 1031教室	
		司会：山田礼子（同志社大学）	
登壇者	所属	発表題目	時間
清水 亮	神戸学院大学	共通教育科目の課題と挑戦：学生を主体的な学びに誘う授業の試み	10:00 ～10:20
巨海 玄道	久留米工業大学	久留米工業大学基幹教育センターにおける初年次教育－現状と問題点－	10:25 ～10:45
福山 悠介	北陸大学	初年次における専門基礎科目の理解度向上とスタディスキル定着の両立－グループ・レビュー、ワークシート、ゼミ－必修科目の連携を通じて－	10:50 ～11:10
総括討論			11:15 ～11:35

A2 学習意欲・動機Ⅰ		10号館3階 1032教室	
		司会：岩井 洋（帝塚山大学）	
登壇者	所属	発表題目	時間
中川 華林	法政大学大学院	達成目標が様々な評価形式への不安に及ぼす影響－二つの年度における縦断的検討－	10:00 ～10:20
加藤 みずき	法政大学大学院	大学授業における発表のルーブリックに対する学生の受け止め方に関する研究Ⅱ－学生によるルーブリック評価法に対する評価と確認回数との関連－	10:25 ～10:45
松田 剛史	北海道科学大学	初年次教育におけるルーブリックを活用したリフレクション活動の実践とその考察	10:50 ～11:10
総括討論			11:15 ～11:35

A3 授業デザイン		10 号館 3 階 1033 教室	
		司会：笹金光徳（高千穂大学）	
登壇者	所属	発表題目	時間
垣花 渉	石川県立看護大学	看護学生の「主体的に学ぶ力」を育てる 授業デザインの検討 - 早期体験に着目して -	10:00 ～10:20
黒田 秀雄	日本総合研究所	イマドキ学生へスイッチを入れるとは？ (パートⅡ) - キーワード：体験型学習 地方創生 都会と地方の大学 -	10:25 ～10:45
岡田 晃枝	東京大学	東京大学「初年次ゼミナール文科」の専門性 - レイト・スペシャリゼーションを阻害しない アーリー・エクスポージャーとは -	10:50 ～11:10
総括討論			11:15 ～11:35

A4 協同学習・グループワークⅠ		10 号館 3 階 1034 教室	
		司会：安永 悟（久留米大学）	
登壇者	所属	発表題目	時間
石橋 裕子	帝京科学大学	協同学習による「音楽理論」の展開 - 30 分間の学びでの読譜力定着を目指して -	10:00 ～10:20
大山 和寿	青山学院大学	法学入門の授業への協同学習の導入の試み	10:25 ～10:45
井上 大樹	札幌学院大学	青年期の特性を活かした初年次教育の試み - 「聞きあい」による「学びあい」のアクティ ヴィティ -	10:50 ～11:10
増井 沙奈江	熊本県精神保健福祉センター	協同認識の構造とその発達 - 協同認識尺度の開発を中心に -	11:15 ～11:35
総括討論			11:40 ～12:00

A5 文章表現・スタディスキルズⅠ		10号館2階 1021教室	
司会：杉谷祐美子（青山学院大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
廣瀬 清英	岩手医科大学	多職種連携アカデミックリテラシーにおける グループワークとアウトプット - PBLワーク ショップ、ディベート、ビブリオバトル -	10:00 ～10:20
山本 裕子	愛知淑徳大学	MY Server を使用した e-learning 入学前課題の 取り組み	10:25 ～10:45
春日 美穂	大正大学	モデルを見せる授業 - 初年次教育における モデル提示の意義と効果 -	10:50 ～11:10
総括討論			11:15 ～11:35

A6 高大接続		10 号館 2 階 1022 教室	
司会：濱名 篤（関西国際大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
溝口 侑	京都大学大学院	大学での授業に対する取り組みから考える成長する学生の経験	10:00 ～10:20
井上 浩義	慶應義塾大学	小中高等学校における先進的理数教育の大学での研究活動に及ぼす効果 - 大学院生を対象とした調査・研究 -	10:25 ～10:45
藤野 博行	九州国際大学	学力の三要素を涵養する高大連携の試み - 大学生による高校での AL 型授業の取り組みとその成果・課題 -	10:50 ～11:10
黒田 友貴	静岡大学大学院 ／愛媛大学	オープンキャンパスにおける学生企画の教育効果に関する研究 - 経年比較結果に着目して -	11:15 ～11:35
総括討論			11:40 ～12:00

A7 教職協働**10 号館 2 階 1023 教室**

司会：藤本元啓（崇城大学）

登壇者	所属	発表題目	時間
橋本 健夫	長崎国際大学	教職協働で行う初年次教育	10:00 ～10:20
鈴木 浩子	明星大学	初年次教育授業の組織的展開のための担当教員 FD - 共通教案を用いた複数教員担当授業事前 研修会実践報告 -	10:25 ～10:45
山本 啓一	北陸大学	教員の協働体制をいかにマネジメントするか - 北陸大学経済経営学部を事例として -	10:50 ～11:10
総括討論			11:15 ～11:35

自由研究発表Ⅱ [9 月 7 日 (木) 午後]

P1 学士課程教育Ⅱ			10 号館 3 階 1031 教室
			司会：西村秀雄（金沢工業大学）
登壇者	所属	発表題目	時間
伊東 幸子	東京工業大学	理工系研究大学における学士課程 1 年生入学時オリエンテーションでは何をするべきか？	15:40 ～16:00
須藤 信	久留米工業大学	授業時間外の学びを支援する「Picture 塾」の取組 - 情報ネットワーク工学科における基礎技術の獲得 -	16:05 ～16:25
大嶋 康裕	崇城大学	理工系数学教育における学部横断型基礎事項確認テストの実施例 - AP 事業「全学 SALC」との連携としての LMS 活用 -	16:30 ～16:50
中井 玲子	兵庫大学	栄養系学科におけるリメディアル教育（計算スキル）の実践例 - 初年次教育科目「基礎ゼミⅡ」の成功例と失敗例 -	16:55 ～17:15
総括討論			17:20 ～17:40

P2 学習意欲・動機Ⅱ			10 号館 3 階 1032 教室
			司会：菊池重雄（玉川大学）
登壇者	所属	発表題目	時間
石川 勝彦	山梨学院大学	初年次ゼミの学修成果を左右する要因	15:40 ～16:00
名取 洋典	いわき明星大学	なぜ夏休み明けに在学意思は低下するのか？ - 学内・学外の友人適応感に着目して -	16:05 ～16:25
中山 英治	大阪産業大学	自己内省型の振り返り活動とその評価における学修成果の可視化 - 大阪産業大学（人文系学部）の初年次教育を例に -	16:30 ～16:50
鎌滝 晋礼	九州大学	課題解決型授業による初年次学生の動機づけと学習観への影響 - 九州大学における課題協学科目の 1 つの授業実践の事例から -	16:55 ～17:15
総括討論			17:20 ～17:40

P3 学習成果・効果測定		10 号館 3 階 1033 教室	
司会：成田秀夫（河合塾）			
登壇者	所属	発表題目	時間
秋山 英治	愛媛大学	e ラーニングを活用した日本語・英語共同学習教材の有効性について	15:40 ～16:00
三上 仁志	中部大学	成績評価の改善とシラバスの改正の取り組み － 初年時必修授業での事例 －	16:05 ～16:25
中村 長史	東京大学	「能動的 TA」組織化の履修生・TA 自身・大学全体への効果 － 東京大学「初年次ゼミナール文科」の実践例 －	16:30 ～16:50
総括討論			16:55 ～17:15

P4 中途退学防止・学生の定着		10 号館 3 階 1034 教室	
司会：山本啓一（北陸大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
絹川 直良	文京学院大学	初年次教育と離脱防止 － CRM をすすめる試み －	15:40 ～16:00
東 俊之	金沢工業大学	初年次教育への経営組織論の援用可能性について － 学生の定着のための初年次教育を対象に －	16:05 ～16:25
初見 康行	いわき明星大学	「学修適応感」が新入生の「在学意思」に与える影響 － パネルデータを使用した実証研究 －	16:30 ～16:50
寺島 哲平	常磐大学	新入生オリエンテーションで実施したコミュニケーションゲームについての実践報告	16:55 ～17:15
総括討論			17:20 ～17:40

P5 協同学習・グループワークⅡ		10号館2階 1021 教室	
司会：藤田哲也（法政大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
須藤 文	久留米大学	LTD 基盤型授業『初年次セミナー』における文章作成 - LTD ステップとマインドマップの結合 -	15:40 ～16:00
長田 敬五	日本歯科大学	LTD based PBL - LTD 基盤型 PBL テュートリアルの実践 -	16:05 ～16:25
中 善則	花園大学	科目の本質理解と協同性を深めるプロジェクト型アクティブ・ラーニングの研究実践 - 「メタ認知」の自覚化を中心に -	16:30 ～16:50
清田 朗裕	神戸学院大学	日本語母語話者によるピア・リーディング実践報告 - 精読力の向上を目指した文章読解授業 -	16:55 ～17:15
総括討論			17:20 ～17:40

P6 協同学習・グループワークⅢ		10 号館 2 階 1022 教室	
司会：関田一彦（創価大学）			
登壇者	所属	発表題目	時間
仙石 昌也	愛知医科大学	クラウドの履歴機能から見る学生の協働学習 参加状況とレポートの評価に関する分析	15:40 ～16:00
坂東 実子	敬愛大学	授業実践報告：初年次教育における「敬語劇」 － グループワークによる台本作成、上演の試み －	16:05 ～16:25
大和田 秀一	酪農学園大学	入学直後の体験がその後のアクティブラーニング に及ぼす影響 － “自己の探求”プログラムの 受講体験と「化学」の学修成果の関係 －	16:30 ～16:50
谷田 林士	大正大学	能動的学修を促進する基礎的コミュニケーション スキルの養成 － 共感的な他者理解を育むた めの導入的トレーニングの開発の試み －	16:55 ～17:15
総括討論			17:20 ～17:40

P7 ピアサポート		10 号館 2 階 1023 教室	
		司会：田中 岳（東京工業大学）	
登壇者	所属	発表題目	時間
木原 宏子	創価大学	ライティング科目再履修クラスにおける単位 取得率向上を目指した取り組み - クラス内の 相互支援と SA・ライティングチューターによる 支援の成果と課題 -	15:40 ～16:00
服部 典子	お茶の水女子大 学	ピアサポートを活用した新たな学びの仕組み - 学生によるキャリア支援行事の企画と運営を 通して -	16:05 ～16:25
佐伯 勇	甲南女子大学	初年次リーダーシップ教育プログラムの実践 - LA(Learning Assistant)制度によるリーダー シップ・パイプライン構築を目指して -	16:30 ～16:50
川崎 弘也	株式会社ラーニ ングバリュー	上級生を活用して新入生の大学適応を安定的に はかる - 自己理解を深めるチームビルディン グプログラムを用いた 6 年間の試み -	16:55 ～17:15
総括討論			17:20 ～17:40

P8 文章表現・スタディスキルズⅡ		10 号館 2 階 1024 教室	
		司会：井下千以子（桜美林大学）	
登壇者	所属	発表題目	時間
岡田 裕子	神戸学院大学	入学後 4 週間で文章作成能力を向上させる試み	15:40 ～16:00
西谷 尚徳	立正大学	ループリック活用による自己評価で促す文章力 養成 - 学生の主体的な学習活動を目指して -	16:05 ～16:25
西口 啓太	神戸大学大学院	米国におけるプロセス・ライティングをめぐる 議論 - 初年次ライティング科目における学習者 の情緒的特性に着目して -	16:30 ～16:50
総括討論			16:55 ～17:15

会場へのアクセス

1. 会場 中部大学 春日井キャンパス

〒487-0027 愛知県春日井市松本町 1200

【連絡先】 中部大学大学代表：0568-51-1111（自動応答）

実行委員会大会校事務局 電話： 0568-51-4503（機械工学科共通室）
0568-51-9341（機械工学科大西研究室）

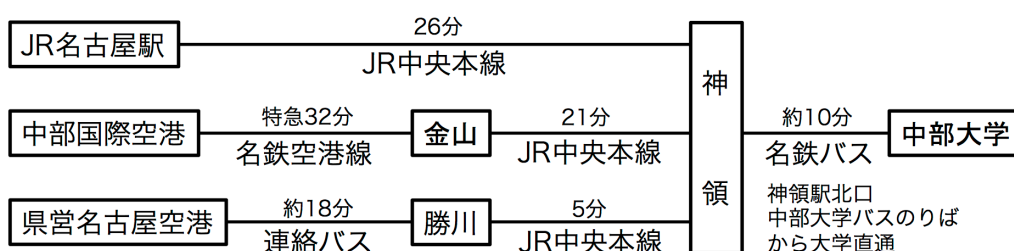
FAX： 0568-51-1194（機械工学科共通室）

Mail： fye10-cu@chubu.ac.jp

【ホームページ】 中部大学ホームページ <https://www.chubu.ac.jp>

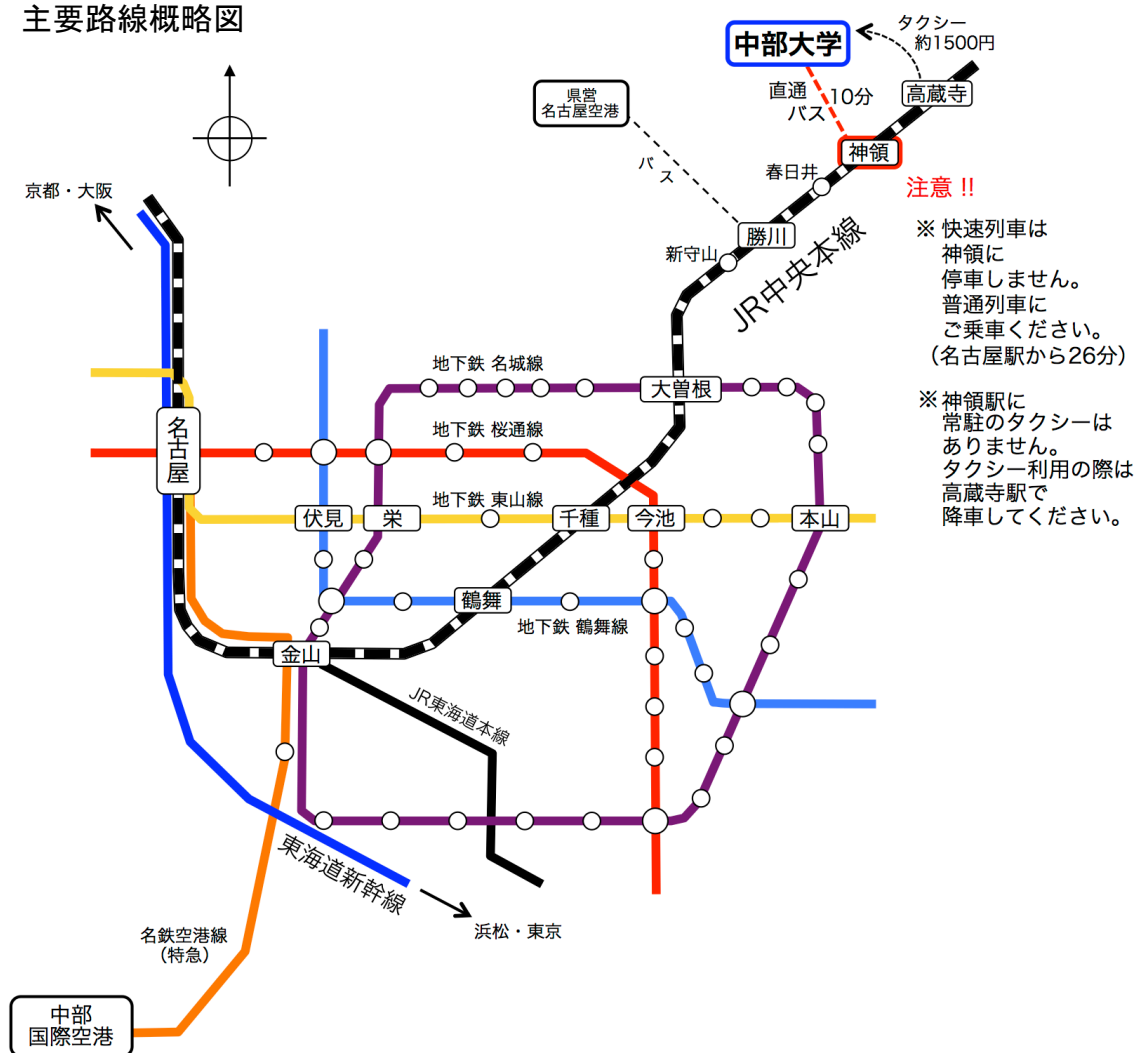
第10回大会ホームページ <http://www.jafye.org/conf/conf2017/>

2. アクセス方法



※ 神領駅に快速は停車しません。普通列車をご利用ください。

主要路線概略図



3. バス利用について

神領駅北口より中部大学まで直通バス（名鉄バス中部大学線）が運行しています。
神領駅改札口を出て左手に進み、「中部大学バスのりば」よりご乗車ください（下図）。

運賃：210 円（主要交通系 IC カードが利用できます）

所要時間：約 10 分（通勤通学時間帯などは遅れることがあります）

※ ご利用いただけるバスは赤色の名鉄バスです。

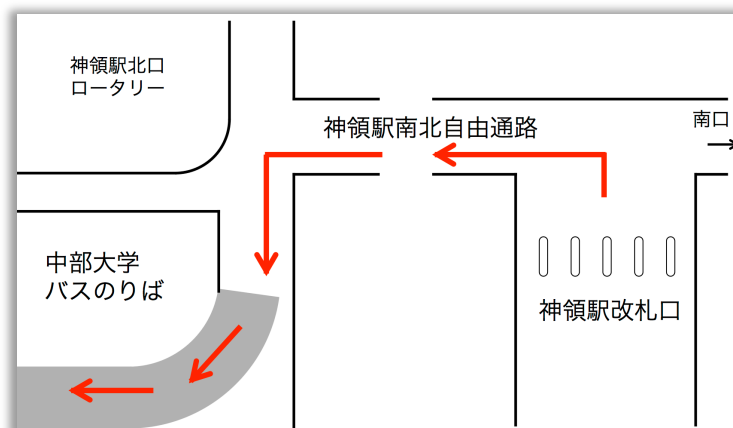
同じ乗り場から発着する青色のバス（別会社）は定期券購入者専用です。

バス時刻表（神領駅北口～中部大学）

	神領駅北口発 中部大学行	中部大学発 神領駅北口行
7	25 50	35
8	05 15 25 35 45 55	00 25 45
9	05 15 25 35 45	05 25 45
10	00 20 35 55	10 25 45
11	15 25 45	05 15 35 50
12	00 20 30 40 50	00 10 30 40 50
13	00 15 30 45	00 10 25 40 55
14	05 25 45	15 35 55
15	00 15 30 45	10 25 40 55
16	00 15 30 45	10 25 40 55
17	00 05 20 30 55	10 20 30 45 55
18	05 20 30 50	10 20 40 50
19	10 30 50	00 *05 20 *30 40 *50
20	10 40	00 *10 30 *40
21	10	00 30

*は9月6日（水）のみの臨時増発

神領駅
バス乗り場
案内図



4. タクシー利用について（ご注意）

神領駅にはタクシーは常駐していません。タクシーで来学される方は1つ先の高蔵寺駅で降車し、高蔵寺駅北口または南口のタクシー乗り場からご利用ください。（約 10 分、1,500 円程度）
お帰りの際のタクシー配車には下記をご利用ください。

名鉄タクシー TEL：0568-81-3101

坂下タクシー TEL：0568-88-0117

尾張交通 TEL：0568-31-6558

キャンパス案内図

10号館

- 1階 大会本部、受付、クローク
休憩コーナー
賛助会員ブース展示 B 会場
- 2階 自由研究発表 A5-7,P5-8
ラウンドテーブル RT4
賛助会員ランチタイムセミナー
閉会式
- 3階 自由研究発表 A1-4, P1-4
ワークショップ WS3
賛助会員ランチタイムセミナー
- 4階 ワークショップ WS1,2,5,7
賛助会員ランチタイムセミナー
休憩室
- 5階 ラウンドテーブル RT1-3

不言実行館 (ACTIVE PLAZA)

- 1階 開会式、総会
大会企画シンポジウム
課題研究シンポジウム
賛助会員ブース展示 A 会場
リフレッシュコーナー
- 2階 ワークショップ WS6
- 5階 ワークショップ WS4
- 6階 情報交換会

第1学生ホール

学生食堂（昼食時）

キャンパスプラザ

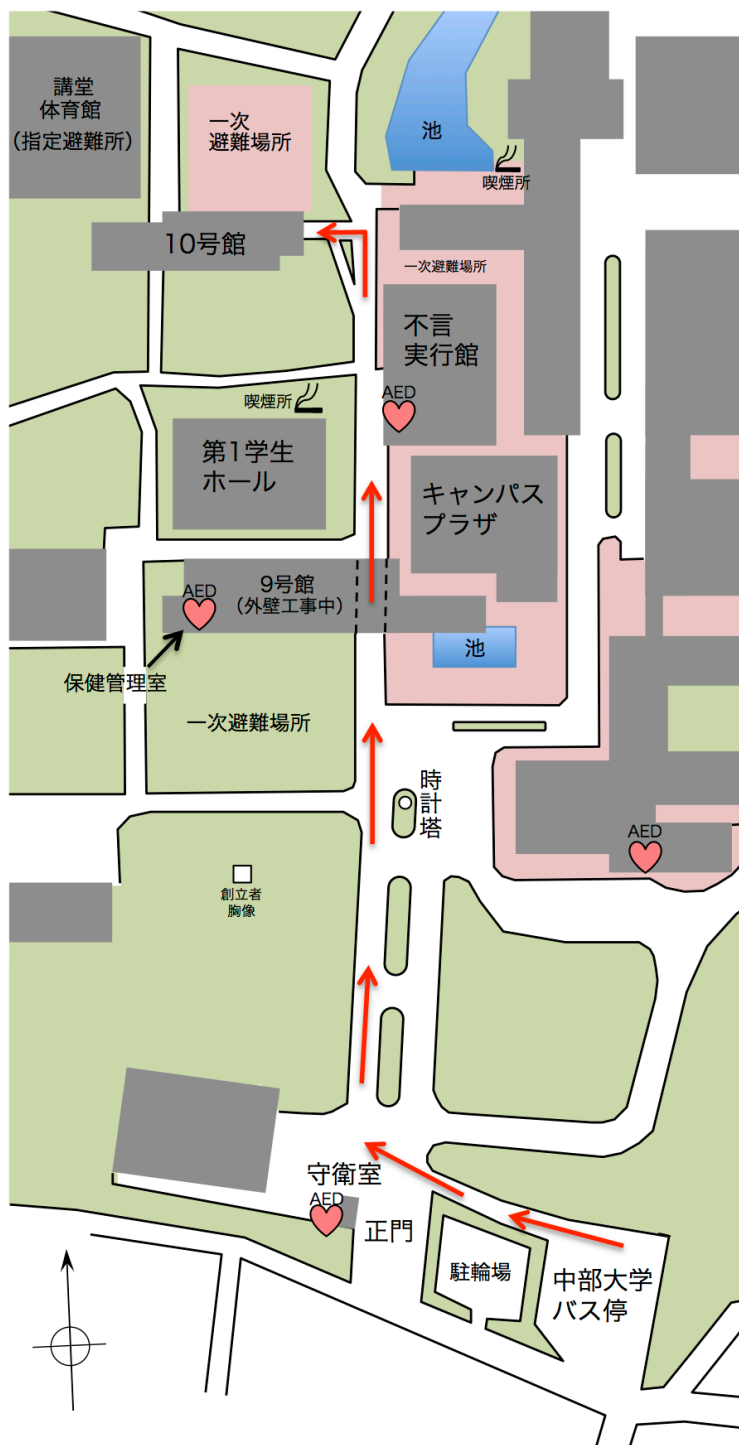
- 1階 セブンイレブン（8:30-16:00）
マクドナルド（昼食時）
サブウェイ（昼食時）
自販機コーナー
簡易郵便局
ATM（三菱東京 UFJ、ゆうちょ銀行）

- 2階 丸善書店（文具・コピー）（10:00-15:00）

※ 学内施設見学（コモンズセンター・学生相談室）

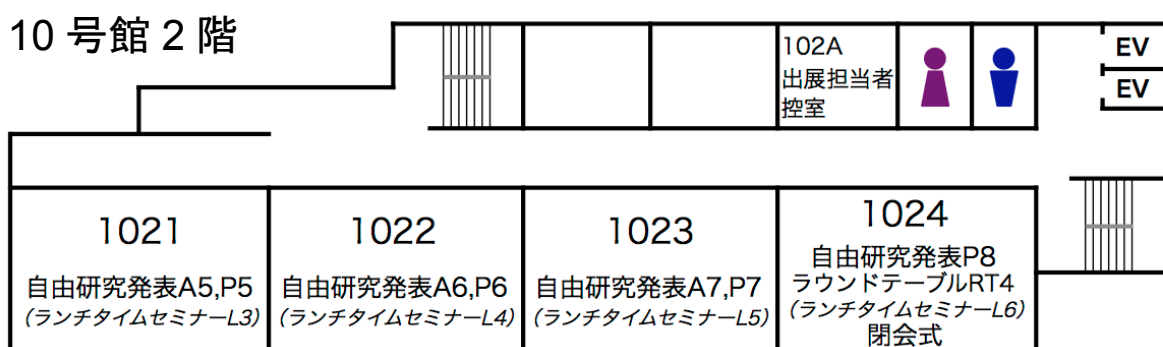
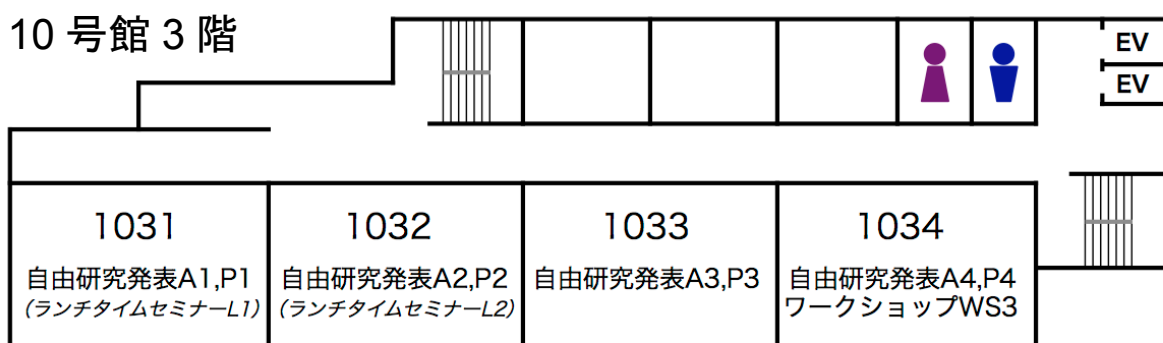
不言実行館2～3階コモンズセンター（スチューデントコモンズ・ラーニングコモンズ）

キャンパスプラザ3階学生相談室の見学案内を大会受付にて行います。詳しくは受付でお尋ねください。（コモンズセンターは会期中随時、学生相談室は昼休み時間のみ）



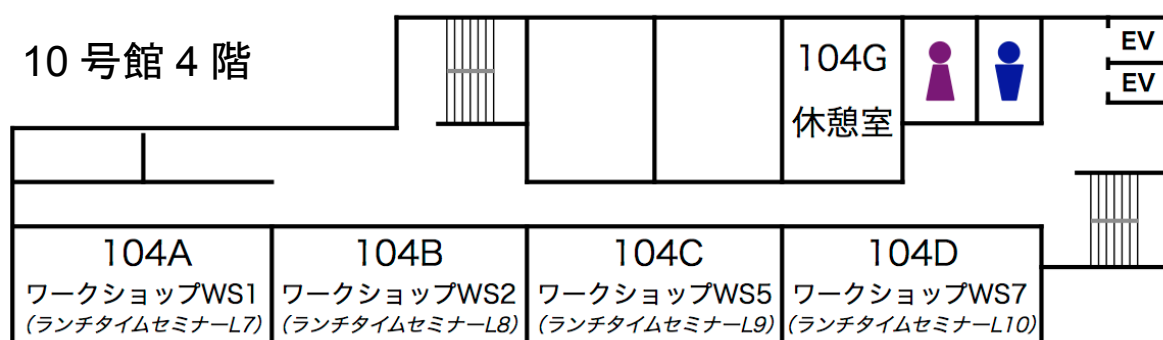
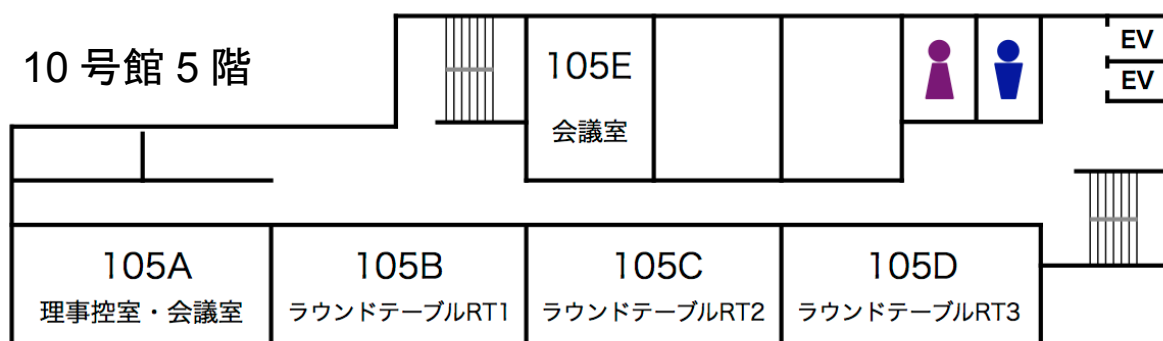
建物案内図

10 号館 1～3 階

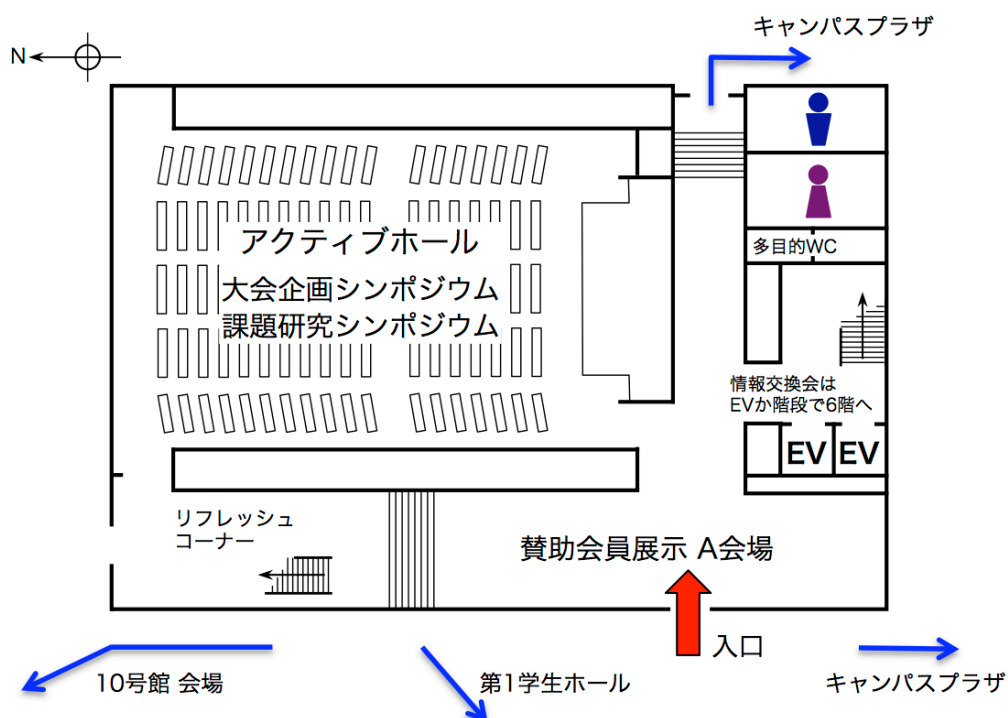


※ 混雑回避のため、第1日目（9月6日）午前の開始時のみ、10号館1階エレベータホールで受付を行います。

10号館 4～5階



不言実行館 1階



※ ワークショップ WS6 は不言実行館 2階 スチューデント commons、ワークショップ WS4 は同 5階 クリエイティブラボ B で行います。エレベータで上階へお上りください。

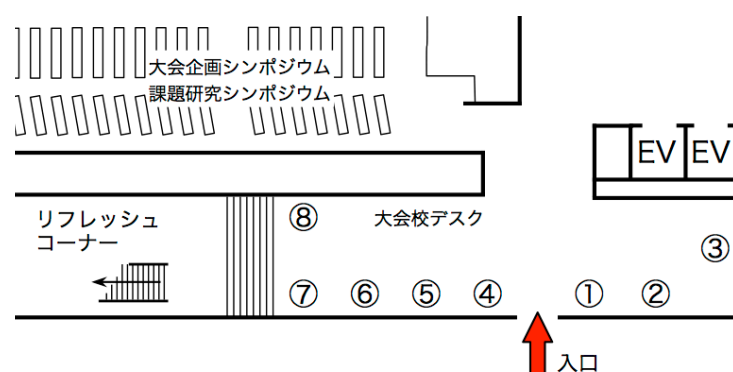
賛助会員出展

(会場別申込受付順)

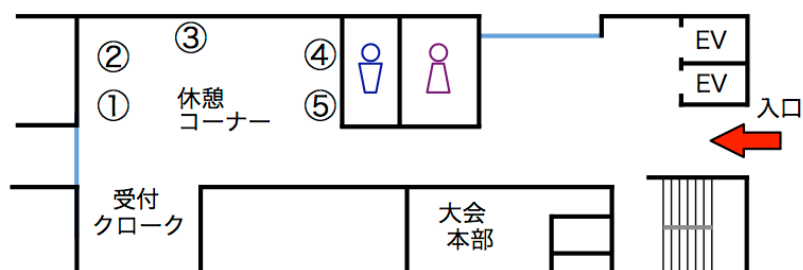
A 会場 (不言実行館 1 階、シンポジウム会場入口周辺)	
①	(株) ワークアカデミー noa 出版
②	ラインズ (株)
③	特定非営利活動法人日本語検定委員会
④	(株) 世界思想社教学社
⑤	(株) 公文教育研究会
⑥	(株) ベネッセ i-キャリア
⑦	朝日新聞社
⑧	日本データパシフィック (株)

B 会場 (10 号館 1 階、大会受付・休憩コーナー周辺)	
①	実教出版 (株)
②	玉川大学出版部
③	(株) くろしお出版
④	(株) KEI アドバンス
⑤	(株) 東信堂

賛助会員展示 A 会場配置図 (不言実行館 1 階)



賛助会員展示 B 会場配置図 (10 号館 1 階)



賛助会員によるランチタイムセミナー

- ※ 第10回大会では、初年次教育に関する教材や評価手法などについての賛助会員から一般参加者への情報提供、相互の情報交換を目的として、賛助会員による「ランチタイムセミナー」を正規プログラムの昼休み時間に試行的に開催します。
- ※ 大会校が会場を提供し、昼休みを利用して各賛助会員の裁量による進行のもとでプレゼンテーションが行われます。セミナー内での食事提供はありませんので、参加者は昼食を先に済ませるか各自で持参して下さい（会場内飲食可）。開催時間は12:20～12:50を目安としますが、昼休み時間の範囲内で部屋ごとに多少前後する場合があります。

ランチタイムセミナー（L1～L6） 9月6日（水）12:20～12:50			
	賛助会員名	題目	会場
L1	日本データパシフィック（株）	e-learning 教材の入学前教育への活用方法のご紹介	10号館3階 1031教室
L2	朝日新聞社	語彙力、表現力、社会事象への関心を高める授業運営 ー時事WS導入事例からー	10号館3階 1032教室
L3	（株）KEI アドバンス	学習経験調査と内部質保証におけるその活用について	10号館2階 1021教室
L4	特定非営利活動法人 日本語検定委員会	初年次教育における日本語検定の活用方法	10号館2階 1022教室
L5	ラインズ（株）	基礎学力向上のためのeラーニングシステム	10号館2階 1023教室
L6	（株）ワークアカデミー noa 出版	キャリア教育に向けた初年次からの資格取得支援事業のご紹介	10号館2階 1024教室

ランチタイムセミナー（L7～L10） 9月7日（木）12:20～12:50			
	賛助会員名	題目	会場
L7	朝日新聞社	語彙力、表現力、社会事象への関心を高める授業運営 ー時事WS導入事例からー	10号館4階 104A教室
L8	（株）世界思想社教学社	初年次教育テキストのカスタマイズと新展開	10号館4階 104B教室
L9	ラインズ（株）	基礎学力向上のためのeラーニングシステム	10号館4階 104C教室
L10	（株）ワークアカデミー noa 出版	初年次科目におけるALの実践～情報授業事例のご紹介	10号館4階 104D教室

実行委員会メンバー

- 【実行委員長】 大西 直之 (中部大学)
- 【実行委員 (学外)】 関田 一彦 (創価大学)
- 谷川 裕稔 (四国大学)
- 成田 秀夫 (学校法人河合塾)
- 藤本 元啓 (崇城大学)
- 安永 悟 (久留米大学)
- 【実行委員 (学内)】 石田 康行 (応用生物学部)
- 江尻 晴美 (生命健康科学部)
- 太田 伸幸 (現代教育学部)
- 古田 明彦 (全学共通教育部事務室)
- 佐藤 枝里 (学生相談室)
- 武田 誠 (工学部)
- 林 英明 (教育支援部)
- 牧野 典子 (生命健康科学部)
- 古川 祥子 (全学共通教育部事務室)
- 和田 珠実 (全学共通教育部)